

日支反日保ヒネスト（白）
29全国学生統行に起て

確証し
而

確認せし
雨の日

卷之三

全市大の学友諸君、430にはじまる米帝曰王者×南ベトナム軍による
流れに逆行するべからず、一矢報ふる意を抱き、この般の反撃は
それとまつたく歎たゞくものである。勿れ、おもひこゝと云ふ
認できるだらう。また、米帝曰王者のカンボジア侵攻に対する、いわば「
りと彼等の絶望へと転化しつつあるの」だと「」とも確認でも、シラフ。イングッシュ、
放の部隊は破竹の前進をおこなつてゐる。即ち、現在南ベトナム境を接する力、
ジア北東部のモンドルキリ州都センモノローム及びクラセー郡クラフチ工西市、
戦線の手により、米帝曰王者の支配から解放された。また、オーニの都市コンソニナ
ヤム市は「北ベトナム、解放戦線の猛攻をうけ、米軍はレバントナム政府軍に後退
を続けてゐる。

このまままことに印度シナ情勢に置いて、日本は法自せねばなり。

日本帝國主義者の「アジアに公議への参加」としての「印イニシアの發揮」と、半能であつた。それは、昨年の日米共同声明の実質化（）しめて日本帝の意図を明白にできだらう。まじその意味する日本帝のアジアの開拓としての登場と、日本帝・大東洋着々と現在行なつてゐる内外軍事力強化と、沖縄の返還とは、表裏一体のことで現在行なわれてゐる「ウ」と考えるが、日本の日本帝國主義は最も弱く、環である沖縄・安保を、我々と彼らとの対立と、鮮明に浮び上らせ、一層大變な打撃を集中させていかねばならないといふこと我々は、自分の任務（）するこ必要がある。だらう。そしてこの斗争（）が専門での、イングリッシュ（）アリと確認しようとでは争への連帶を語ること（）ができると「ウ」とアリと確認しようとでは

学園スト体制の构筑

志統一を獲ち取るなか、我が市大において、完全なネストを追求して、青年労働者と堅固呼応する。6月23日をストライキで決起しようではないか。そして、これが市大の市大のクラス末端からの討論を徹底し、県し、クラスを基礎として運動体の組織化へ、全力を挙へることを、学生共斗会議より全市大の学友に訴えた。それこそが市大における战斗的自治会再建への道なのである。